

くらしなが二協だより

発行
協議会
まちづくり協議会
児童委員・社会福祉協議会
編集委員会
(29年度冬号)

倉永校区まちづくり協議会 公助による運営支援と紹介

倉永まちづくり協議会（以下、倉永まち協）が平成二十四年五月十五日に設立され、早や六年目が経過しています。

町内公民館をはじめ、各自治会や民生委員、社会福祉協議会や各種構成団体のご協力を得ながら、地域の課題解決や連絡調整の場として、多くの住民参加を目指しています。

倉永まち協の運営は、市の地域担当職員と吉野地区公民館および地域包括支援センターからの助言や協力をいただいております、その活動についてご紹介させていただきます。

地域担当職員
大牟田市では、平成二十

二年に「大牟田市地域コミュニティ基本指針」が策定され、これに基づき「校区まちづくり協議会」の設立を支援し、現在十八校区でこの協議会が誕生しています。



地域コミュニティ推進課
地域担当職員 田頭博範

倉永まち協はコミュニティセンターを拠点に活発な事業が実施され、校区まちづくり協議会の中にも先進的です。

私ども地域担当職員の主な職務は、校区まちづくり協議会の形成後の支援

の他、行政情報や地域づくりに関する情報提供、地域の課題、要望等の把握、地域組織からの相談対応や加入促進活動にも協力しております。

今後心豊かで活気と魅力のある地域社会の実現に向けて、地域の皆様と共に頑張っていきます。これからもよろしくお願ひします

吉野地区公民館

吉野地区公民館は、倉永、吉野、上内の3校区を担当し、地域の特性や伝統を踏まえ各種団体と連携した事業を通じて、地域活動の支援・推進を図っています。

地区公民館の事業として、地域の課題である地域の人材発掘や育成、コミュニティの活性化などを目的とした「地域力アップ支援事業」に取り組み、倉永

まち協との共催で、ここ数年スマートフォンを活用した情報発信や共有化を図る目的とした講座を開催しました。

講座終了後に、スマートフォンを使い方を学習する「フラインククラブ」が独自に発足しています。



館長 池松幸一
主事 戸次まゆみ

また、倉永まち協などとの共催で、「地域で子どもを育てる」という意識向上を図るため、倉永小学校で「五者連携教育講演会」を開催しています。

吉野地域 包括支援センター

私どもは地域の福祉向上の観点から倉永まち協の定例会議や事業に積極的に参加しています。

今回、吉野包括支援センターの業務を簡単にQ&

A方式で紹介します。

Q1: 包括支援センターってどんなことなの？

A1: 高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で暮らし続けられるように介護・福祉・医療などの様々な面からサポートします。

吉野包括支援センターの担当校区は、「倉永」「吉野」「上内」の三校区です。

Q2: どんな相談が多いの？
A2: 生活に関わる様々な相談のなかで、特に多いのが、介護に関する相談で、「一人でお風呂に入るのが怖くなった」「おじいちゃんの物忘れが気になる」「隣の一人暮らしの高齢者が心配」などです。そのほかにも、健康や消費者被害、虐待などの相談にも応じています。

Q3: どんな人がいるの？
A3: 看護師や主任ケアマネージャー、社会福祉士、生活支援コーディネーターがあり、医療・介護・福祉・地域のことなどの相談に応じています。次ページの写真では、上段左から小柳・坂井・工藤、下段左から

ら緒方・手塚です。よろしくお願ひします。



Q4:どこにあるの？

A4:吉野地区公民館内にあります。

Q5:どうやって相談・活用すればいいの？

A5:お電話いただくか、吉野地区公民館にお越しください。

連絡先・41-6025
まずはお電話ください。

主な事業紹介

倉永まち協では本年度も様々な事業や研修等が積極的に取り組まれましたが、主なものについてご紹介させていただきます。

くらながキャンパス 開所

大牟田市では、校区まちづ

くりの交付金に、地域提案型交付金が設置されたことに伴い「くらながキャンパス」が昨年の八月二十六日にオープンしました。



その後、毎月の第二と第四土曜日の午前十時〜午後十二時の2時間を目途に開催されています。くらながキャンパスは子ども健全育成であり、三つの催しを柱に進められています。



一つ目、お助け塾(宿題やお勉強をサポート。二つ目、英語で歌おう(歌やゲームを歌で行う。三つ目、?スペース(面白実験)です。

ボランティア体制も二十五名程が登録され支援体制も充実しています。

是非、お子さんにも「あんた行ってこんネ！」と一声かけて下されば幸いです。

連絡先・星野
090-5022-7897

地域と倉永小との取組

倉永小学校では地域と連携した「福祉・ボランティア」活動と「仲間とつながり」「地域とつながり」「郷土とつながり」を大切にした読書活動を二本の柱とするESD教育を推進しています。

今年度も様々な活動に取り組み、友だちや地域の方達に対する思いやりや感謝の気持ちを育てることができました。

倉永校区内の史跡めぐり

十一月十四日(火)に一年生から六年生までの縦

割りで十六班に分かれ、六年生がリーダーになって十八カ所の史跡を巡りました。

民生委員、福祉委員、地域の方に加えて各班の五年生がガイド役になり、史跡の由来などを説明しました。



歩くスピードが遅くなった友だちに声を掛け合う姿も見られ、子ども同士の間もつながりもさらに深まったことと、倉永の豊かな自然と歴史に親しめた一日でした。

実施にあたり大勢の皆様にご協力頂きありがとうございました。

倉永小6年認知症講座



十一月三十日(木)に六年生を対象にした認知症講座を行いました。

安心ネットの方々による寸劇やお話で認知症がどんな病気か、認知症のお年寄りにとどのように接するかを分かりやすく教えて頂きました。子ども達も真剣に学ぶ姿を見て、このような学習は高齢化社会に大切なものだとして改めて感じました。

倉永小6年生の町づくり提案発表

十二月五日(火)、倉永小六年生がコミセンで国語「町の幸福論」の一環で大牟田市や倉永校区の町づくりの提案を行いました。



各グループで作成したプレゼンテーションをもとに自分たちが考える町づくりを紹介しました。発表した後は、地域の方達に

たくさん感想を頂き、子ども達は大変満足したようでした。

門松づくり

十二月十九日(火)、コミセン前の運動場で倉永小学校四年生、六年生の児童六十三名が地域住民二十名余りの指導のもと、門松づくりを体験しました。



竹切りや飾り物等は事前に地域のボランティアや民生委員の方々を中心に準備して頂き、二時間で二百余りの門松を作ることができました。

子どもたちは思い思いに自分の門松を作ることができ、「面白かった。」「楽しかった。」という感想が聞かれて大変よい体験になりました。

その後、門松を老人福祉施設に地域の方や民生委員さんとともに持って行

き、門松を渡すときにお年寄りが涙を流す姿を見て、子ども達も心を打たれたようでした。

倉永小児童の読み聞かせ

本年度より、倉永小学校図書委員会の児童が地域の公民館や施設に出向いて読み聞かせをしています。

お年寄りが親しみやすいように太平洋戦争をテーマにした「すみれ島」や韓国の昔話「三年とうげ」の本の読み聞かせをしています。



最初は、たどたどしい読み聞かせだけでしたが、今では話の内容をしつかりと伝えようという気持ちが声に表れるものになっ

ています。

地域とつながる読書活動は本校の学校教育の特色の一つになりました。

町づくりに関する 主な事業と研修他

民生児童委員・福祉委員 合同研修

九月七日、おおむたハイ



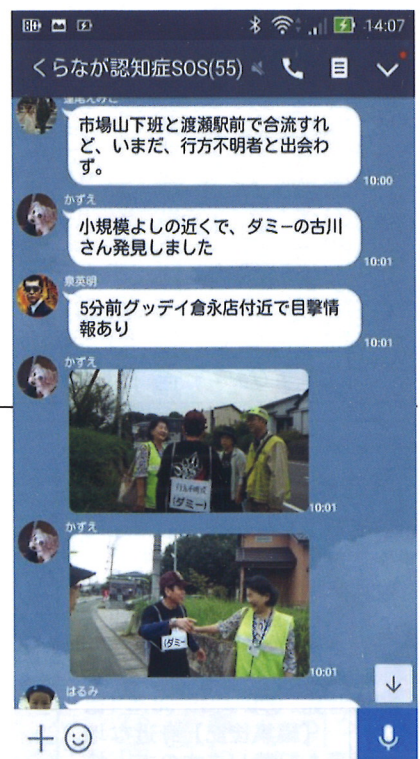
ツにて民生児童委員・福祉委員合同の研修会が行われました。この研修は地域福祉の充実を目指す

指しており、テーマに沿ったグループ討議行い地域福祉の向上を図るもので、毎年開催されています。

認知症SOSネットワーク 模擬訓練

九月二十四日、大牟田市主

催による認知症SOSネットワーク模擬訓練(旧徘徊模擬訓練)が行われました。今年も多くの方々に参加していただき、捜査状況をスマ



ホのラインによる活用も行われました。

「チョットおかしいな」と思ったら勇気を出して「二声」かけましょう。

健康力アップ事業



真剣に話を聞く参加者

平成二十九年年度の倉永健康力アップ事業では、スペシャルサロンを3回開催しました。

第一回目は、「健康体操」と「お顔リフトアップ(ほうれい線と眉間のしわ解消)」、第二回目は、「血管年

齢・骨密度測定」、第三回目は、「食と健康について」が行われました。各コース、大勢の参加者があり楽しんでいただきました。

朝倉東峰村視察研修

社協、くらなが安心ネット、十一月二十二日、北部九州豪雨災害に見舞われた東峰村へ地元視察を行いました。

社協の方より、災害現場の現状をお聞きしたところですが、災害状況は予想を張るかに上回るものがあり、「予想外のことが発生することが災害だ」と改めて感じたところです。一日も早い復興をお祈りします。

地域リーダー研修会(実践発表)

十二月一日、おおむたハイッにて地域リーダー研修会で井形会長、湯村副会長、星野副会長で実践発表が行われました。



登壇した井形会長、湯村副会長、星野副会長とそのグループです

体育事業報告

大運動会

大運動会が十月一日に開催されました。

今回の仮想行列は大牟田市制100周年を記念

「軽妙なかけあい」で、綱引きでは同点が相次ぎ競技参加者はヘトヘトのようでした。



する仮装となり、この仮装行列の優勝は内山公民館でした。

プログラム進行はDJ杉野さんが競技者として



地区対抗リレーは白熱した競技となり、他の競技も大会を大いに盛り上げてくれました。

優勝 荒田比公民館
準優勝 元村公民館

グラウンドゴルフ大会

十一月十二日に、グラウンドゴルフ大会が男女十八チームで行われました。

競技中は一打毎にため息やガッツポーズも見られ楽しく競技が進行して行きました。競技結果は次の通りです。

優勝 上中村公民館
準優勝 内山公民館

公民館だより

「内山ペタン」祭り

内山公民館

内山地域住民の親睦と地域の活性化を目的に十二月三日(日)に、内山町るい村実行委員会主催、遊々うちやま、内山公民館協賛による餅つき大会が大人と子供を含め大勢の皆さんが参加されました。

ついた餅でぜんざいが



ふるまわれ、門松づくりや抽選会に賑わいました。

赤い羽根共同募金

平成二十九年

- さくら薬局 ▼ 長岡医院 ▼ 心くやま眼科 ▼ 倉永郵便局 ▼ 二宮医院 ▼ 永江歯科 ▼ 石橋整形外科 ▼ 東原産婦人科 ▼ 倉永整骨院 ▼ 全巧整骨院 ▼ 菓子のイトー ▼ 吉野園 ▼ 植田医院 ▼ オートボディ宮脇 ▼ 田島オート ▼ 陽光台公園墓地 ▼ 小川クリーニング ▼ 一社)リード ▼ 斎藤電設 ▼ チームうえだ ▼ ライフ坂口 ▼ 侑うえだ ▼ 親和園 ▼ メルヘン ▼ さくら建設 ▼ 各公民館・自治会(順不同)
- (共同募金会倉永分会、倉永校区社会福祉協議会) **ご寄付有難うございました。**

防災士養成講座報告

大牟田市では、地域防災の向上のため地域防災活動リーダーを育成する目的で、防災士養成講座受講者が募集されました。

倉永校区からは、三名の方が二日間の研修を受講され、その後の検定試験に見事合格されました。

今後の活躍を期待します。
【防災士合格者】
南義弘さん、古川芳道さん、蓮尾恵実子さん

お知らせ

「倉永ウォーキング大会」

平成三十年三月十一(日)、倉永校区ウォーキング大会(史跡めぐり)が倉永コミセンを十時出発です。

「防災訓練」

平成三十年三月十八(日)、九時三十分より倉永校区「三中村」合同の防災訓練が、避難場所の倉永コミュニティセンターで中行われます。(雨天決行)

「くらなが祭り」

平成三十年五月十八(日)、第3回くらなが祭りを開催します。ご協力の程よろしく願います。

「三協だより」問合せ先

- まちづくり協議会
井形陽一 徳永春男
 - 民生児童委員協議会
湯村剛太郎 橋口美知子
 - 社会福祉協議会
星野誠子
- 問合せ先：090-1346-5875 (徳永) 【編集後記】身近な地域行事も記載しますので、情報提供をお願いします。